当院では下記の臨床研究を実施しております。

研究課題名	尿路上皮癌の予後に関する臨床研究(研究倫理委員会承認番号: 857)
当院の研究責任者 (所属)	仲村 和芳(泌尿器科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	千葉大学医学部附属病院
本研究の目的	尿路上皮癌に関する診断および治療内容の結果、治療に影響する患者 さんの状態を調べることにより、よりよい治療を提供できるようにす る。
調査データの 該当期間	2025年9月から2030年9月まで
研究の方法 (対象となる方)	当院で尿路上皮癌(膀胱癌、腎盂癌、尿管癌)の診断を受け、手術、 化学療法、膀胱注入療法、免疫チェックポイント阻害薬等の治療を受 けられた方。
研究の方法 (使用する情報)	診療情報収集を行います。診療情報として用いるものは、手術・生検 検体の病理結果、採血データ、画像データ、治療方法、手術内容、治 療効果、副作用等です。
資料・情報の他機関 への提供	関連する学会や国際学術雑誌等の学術論文 関連施設との共同研究
個人情報の取扱い	個人を特定できる情報(氏名、ID、生年月日、住所等)は厳重に管理 し、匿名化を行い解析には利用しません。研究成果の報告についても 患者様の個人名等は公表しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の実施に関して、研究者が開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	君津中央病院 0438-36-1071 (代表) 泌尿器科 仲村 和芳
備考	

当院では下記の臨床研究を実施しております。

研究課題名	前立腺癌の予後に関する臨床研究(研究倫理委員会承認番号: 857)
当院の研究責任者	
(所属)	仲村 和芳(泌尿器科)
他の研究機関及び	千葉大学医学部附属病院
各施設の研究責任者	
	前立腺癌に関する診断および治療内容の結果、治療に影響する患者さ
本研究の目的	んの状態を調べることにより、よりよい治療を提供できるようにす
	る。
調査データの	2025 # 0 B # 5 2020 # 0 B # 7
該当期間	2025年9月から2030年9月まで
研究の方法	当院で前立腺癌の診断を受け、手術、ホルモン療法、化学療法等の治
(対象となる方)	療を受けられた方。前立腺癌の診断のうえ、経過観察となった方。
四郊の古汁	診療情報収集を行います。診療情報として用いるものは、手術・生検
研究の方法	検体の病理結果、採血データ、画像データ、治療方法、手術内容、治
(使用する情報)	療効果、副作用等です。
資料・情報の他機関	関連する学会や国際学術雑誌等の学術論文
への提供	関連施設との共同研究
	個人を特定できる情報(氏名、ID、生年月日、住所等)は厳重に管理
個人情報の取扱い	し、匿名化を行い解析には利用しません。研究成果の報告についても
	患者様の個人名等は公表しません。
本研究の資金源	
(利益相反)	本研究の実施に関して、研究者が開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	君津中央病院 0438-36-1071 (代表)
	泌尿器科 仲村 和芳
備考	

当院では下記の臨床研究を実施しております。

研究課題名	泌尿器科救急疾患の治療効果に関する臨床研究(研究倫理委員会承認
	番号:857)
 当院の研究責任者	
	仲村 和芳(泌尿器科)
(所属)	
他の研究機関及び	 千葉大学医学部附属病院
各施設の研究責任者	T SIGN (S C S GEFISIESIS)
	泌尿器科救急疾患に関する診断および治療内容の結果、治療に影響す
本研究の目的	る患者さんの状態を調べることにより、よりよい治療を提供できるよ
	うにする。
調査データの	
該当期間	2025年9月から2030年9月まで
 研究の方法	 当院で泌尿器科救急疾患(尿路外傷・精巣捻転・腎梗塞・持続勃起症
(対象となる方)	等)の診断を受け、手術、薬物療法等の治療を受けられた方。
(//3//2-0/0/0/	診療情報収集を行います。診療情報として用いるものは、手術・生検
研究の方法	
(使用する情報)	検体の病理結果、採血データ、画像データ、治療方法、手術内容、治
	療効果、副作用等です。
資料・情報の他機関	関連する学会や国際学術雑誌等の学術論文
への提供	関連施設との共同研究
	個人を特定できる情報(氏名、ID、生年月日、住所等)は厳重に管理
個人情報の取扱い	し、匿名化を行い解析には利用しません。研究成果の報告についても
	患者様の個人名等は公表しません。
 本研究の資金源	
(利益相反)	本研究の実施に関して、研究者が開示すべき利益相反はありません。
(13111111)	君津中央病院 0438-36-1071 (代表)
お問い合わせ先	
	泌尿器科 仲村 和芳
備考	

当院では下記の臨床研究を実施しております。

研究課題名	腎細胞癌の予後に関する臨床研究(研究倫理委員会承認番号: 857)
当院の研究責任者	
(所属)	仲村 和芳(泌尿器科)
他の研究機関及び	千葉大学医学部附属病院
各施設の研究責任者	
	腎細胞癌に関する診断および治療内容の結果、治療に影響する患者さ
本研究の目的	んの状態を調べることにより、よりよい治療を提供できるようにす
	る 。
調査データの	2025 # 0 B to 2020 # 0 B to 7
該当期間	2025年9月から2030年9月まで
研究の方法	当院で腎細胞癌の診断を受け、手術、分子標的薬、免疫チェックポイ
(対象となる方)	ント阻害薬等の治療を受けられた方。
四名の古汁	診療情報収集を行います。診療情報として用いるものは、手術・生検
研究の方法	検体の病理結果、採血データ、画像データ、治療方法、手術内容、治
(使用する情報)	療効果、副作用等です。
資料・情報の他機関	関連する学会や国際学術雑誌等の学術論文
への提供	関連施設との共同研究
	個人を特定できる情報(氏名、ID、生年月日、住所等)は厳重に管理
個人情報の取扱い	し、匿名化を行い解析には利用しません。研究成果の報告についても
	患者様の個人名等は公表しません。
本研究の資金源	
(利益相反)	本研究の実施に関して、研究者が開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	君津中央病院 0438-36-1071 (代表)
	泌尿器科 仲村 和芳
備考	

当院では下記の臨床研究を実施しております。

研究課題名	精巣腫瘍の予後に関する臨床研究(研究倫理委員会承認番号: 857)
当院の研究責任者	
(所属)	仲村 和芳(泌尿器科)
他の研究機関及び	千葉大学医学部附属病院
各施設の研究責任者	
	精巣腫瘍に関する診断および治療内容の結果、治療に影響する患者さ
本研究の目的	んの状態を調べることにより、よりよい治療を提供できるようにす
	వ .
調査データの	0005 # 0 □#\\$ 0000 # 0 □ ₹
該当期間	2025年9月から2030年9月まで
研究の方法	当院で精巣腫瘍(セミノーマ、非セミノーマなど)の診断を受け、手
(対象となる方)	術、化学療法等の治療を受けられた方。
四位 0 六) 十	診療情報収集を行います。診療情報として用いるものは、手術・生検
研究の方法 (使用する情報)	検体の病理結果、採血データ、画像データ、治療方法、手術内容、治
	療効果、副作用等です。
資料・情報の他機関	関連する学会や国際学術雑誌等の学術論文
への提供	関連施設との共同研究
	個人を特定できる情報(氏名、ID、生年月日、住所等)は厳重に管理
個人情報の取扱い	し、匿名化を行い解析には利用しません。研究成果の報告についても
	患者様の個人名等は公表しません。
本研究の資金源	
(利益相反)	本研究の実施に関して、研究者が開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	君津中央病院 0438-36-1071 (代表)
	泌尿器科 仲村 和芳
備考	

当院では下記の臨床研究を実施しております。

研究課題名	尿路結石・尿路感染症の治療効果に関する臨床研究(研究倫理委員会 承認番号:857)
当院の研究責任者 (所属)	仲村 和芳(泌尿器科)
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	千葉大学医学部附属病院
本研究の目的	尿路結石・尿路感染症に関する診断および治療内容の結果、治療に影響する患者さんの状態を調べることにより、よりよい治療を提供できるようにする。
調査データの 該当期間	2025年9月から2030年9月まで
研究の方法 (対象となる方)	当院で尿管結石または尿路感染症(前立腺炎、膀胱炎、腎盂腎炎、精 巣上体炎、性感染症等)の診断を受け、手術、薬物療法等の治療を受 けられた方。
研究の方法 (使用する情報)	診療情報収集を行います。診療情報として用いるものは、手術・生検 検体の病理結果、採血データ、画像データ、治療方法、手術内容、治 療効果、副作用等です。
資料・情報の他機関 への提供	関連する学会や国際学術雑誌等の学術論文 関連施設との共同研究
個人情報の取扱い	個人を特定できる情報(氏名、ID、生年月日、住所等)は厳重に管理 し、匿名化を行い解析には利用しません。研究成果の報告についても 患者様の個人名等は公表しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の実施に関して、研究者が開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	君津中央病院 0438-36-1071 (代表) 泌尿器科 仲村 和芳
備考	

当院では下記の臨床研究を実施しております。

研究課題名	排尿障害の治療効果に関する臨床研究(研究倫理委員会承認番号:
	857)
当院の研究責任者	
(所属)	仲村 和芳(泌尿器科)
他の研究機関及び	千葉大学医学部附属病院
各施設の研究責任者	
	排尿障害に関する診断および治療内容の結果、治療に影響する患者さ
本研究の目的	んの状態を調べることにより、よりよい治療を提供できるようにす
	ි
調査データの	2025年9月から2030年9月まで
該当期間	2020 + 3 HN 2 2030 + 3 H& C
研究の方法	当院で排尿障害(前立腺肥大症、過活動膀胱、神経因性膀胱等)の診
(対象となる方)	断を受け、手術、薬物療法等の治療を受けられた方。
研究の方法	診療情報収集を行います。診療情報として用いるものは、手術・生検
(使用する情報)	検体の病理結果、採血データ、画像データ、治療方法、手術内容、治
	療効果、副作用等です。
資料・情報の他機関	関連する学会や国際学術雑誌等の学術論文
への提供	関連施設との共同研究
	個人を特定できる情報(氏名、ID、生年月日、住所等)は厳重に管理
個人情報の取扱い	し、匿名化を行い解析には利用しません。研究成果の報告についても
	患者様の個人名等は公表しません。
本研究の資金源	 本研究の実施に関して、研究者が開示すべき利益相反はありません。
(利益相反)	本明九の夫地に関して、明九百万角がすべる利益相反はありなどが。
お問い合わせ先	君津中央病院 0438-36-1071 (代表)
	泌尿器科 仲村 和芳
備考	